

初年次教育学会教育実践賞審査ルーブリック

審査の観点	A (3)	B (2)	C (1)	D (0)
独創性 (独自の事例や新しい知見を提供している)	<input type="checkbox"/> 他大学にはみられない独自の発想・視点に基づく事例や極めて新しい知見を提供している。	<input type="checkbox"/> 独自の発想・視点や新しい知見を一部に含みつつ、既存の取組を応用している。	<input type="checkbox"/> 独自の発想・視点や新しい知見はあまり含まれていないが、自学の特色や個性を活かした取組をしている。	<input type="checkbox"/> 独自の発想・視点や新しい知見はほとんど提供していない。
適切性 (達成目標、取組内容、実施体制、取組の評価方法等が総合的に適切に機能している)	<input type="checkbox"/> 達成目標、取組内容、実施体制、取組の評価方法等が首尾一貫し、十全に機能している。	<input type="checkbox"/> 達成目標、取組内容、実施体制、取組の評価方法等が概ね対応し、機能している。	<input type="checkbox"/> 達成目標、取組内容、実施体制、取組の評価方法等の一部に齟齬があり、円滑に機能していない。	<input type="checkbox"/> 達成目標、取組内容、実施体制、取組の評価方法等に一貫性がなく、機能が滞っている。
有効性 (達成目標に見合った成果が表れていることを示している)	<input type="checkbox"/> 目標に見合った成果が十分に達成されていることを示している。	<input type="checkbox"/> 目標に見合った成果がある程度達成されていることを示している。	<input type="checkbox"/> 目標に見合った成果があまり達成されていないことを示し、課題を認識している。	<input type="checkbox"/> 目標に見合った成果がほとんど達成されていない、あるいは成果が達成されているかどうかわからない。
汎用性 (費用対効果も勘案し、(設置形態や規模等が同等の)他大学への参考・普及に資する)	<input type="checkbox"/> (同等の)他大学が参考にし、導入しやすい要素がある程度盛り込まれている。	<input type="checkbox"/> (同等の)他大学が参考にし、導入しやすい要素が一部に盛り込まれている。	<input type="checkbox"/> (同等の)他大学の参考になる要素はあるが、導入するのは容易ではない。	<input type="checkbox"/> (同等の)他大学が参考にし、導入しやすい要素がほとんど盛り込まれていない。
有用性 (大学教育全体の改善や発展にとって、有益である)	<input type="checkbox"/> 今後の大学教育全体の改善や発展にとって、極めて有益なモデルとなる。	<input type="checkbox"/> 今後の大学教育全体の改善や発展にとって、有益なモデルとなる。	<input type="checkbox"/> 今後の大学教育全体の改善や発展にとって、有益な部分が含まれている。	<input type="checkbox"/> 今後の大学教育全体の改善や発展にとって、あまり有益ではない。

合計得点： \_\_\_\_\_

総合判定	<input type="checkbox"/> 教育実践賞として表彰するのが望ましい。	<input type="checkbox"/> 教育実践賞の候補として検討してもよい。	<input type="checkbox"/> 教育実践賞の候補とするには時期尚早である。	<input type="checkbox"/> 教育実践賞の候補とするのは望ましくない。
------	----------------------------------------------	----------------------------------------------	------------------------------------------------	-----------------------------------------------